
夏休み前、必見！子どもと接する際に注意すべきこととは！？ 「後悔する発言・態度をとったことがある」親が87.7%も！ ～理由1位は、「過去に注意したことを繰り返したから」～ 【親子のコミュニケーションについての意識調査】

幼児・小中学生を対象としたサッカースクールを運営する株式会社クーバー・コーチング・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：石橋 慎二）は、2016年6月23日（木）～29日（水）に「親子のコミュニケーション」についての調査をインターネットを通じて実施致しました。

調査は、クーバー・コーチング・ジャパンのサッカースクールに通う小学生のお子様を持つ保護者様に對して行い、223名から回答を得ました。

この度調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

= 調査結果ダイジェスト =

■ 【「コミュニケーション量」について】

子どもとのコミュニケーション、「取れている」が89.7%！

（充分取れている・・・35.9%、やや取れている・・・53.8%）

1日の会話時間は、1～2時間が46.2%と最多。

会話で多い話題は、1位「学校での話題（78.4%）」、2位「習い事/運動系（68.7%）」、3位「友達の話題（42.3%）」。

■ 【「後悔するような発言や態度」の有無について】

子どもとのコミュニケーションで「後悔する発言・態度をとったことがある」保護者が87.7%。

理由は、「過去にも注意したことを繰り返したから」が75.9%と断トツの1位。

「慌たしさから、きちんと向き合わずに流してしまった。」

「叱るというより、怒鳴る、怒る態度で接してしまった」といった少数意見も。

■ 【「コミュニケーションで気をつけていること」について】

「子どもの言いたい事を最後まで聞く」が47.1%で最多！

※当リリース記載内容を記事等に使用する際は、

出典元として「クーバー・コーチング・ジャパン調べ」という表記をご記載ください。

※当リリース記載のグラフ等のデータ提供のご希望がございましたらPR事務局までお問い合わせください。

▼お問い合わせは下記まで、お気軽にどうぞ▼

株式会社クーバー・コーチング・ジャパン

T E L / 03-3407-2605（平日10時～18時） FAX / 03-3407-6317

Email info@coerve.co.jp

【調査結果①／親子のコミュニケーションについて】

子どもとのコミュニケーションは「取れている」と回答した保護者が89.7%

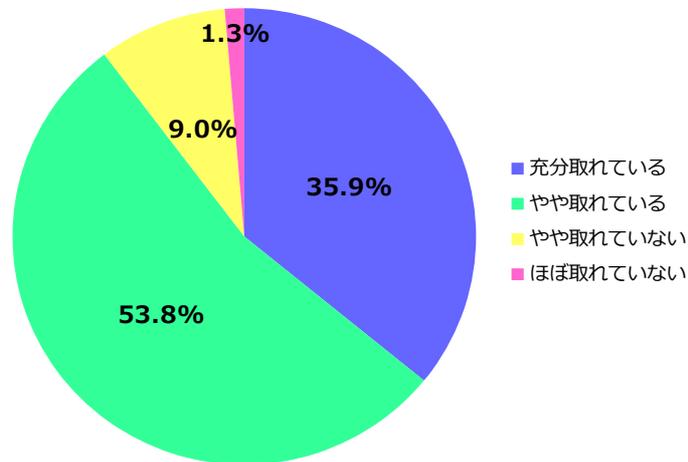
(充分取れている・・・35.9%、やや取れている・・・53.8%)

とコミュニケーションは良好に取られていることがわかる。

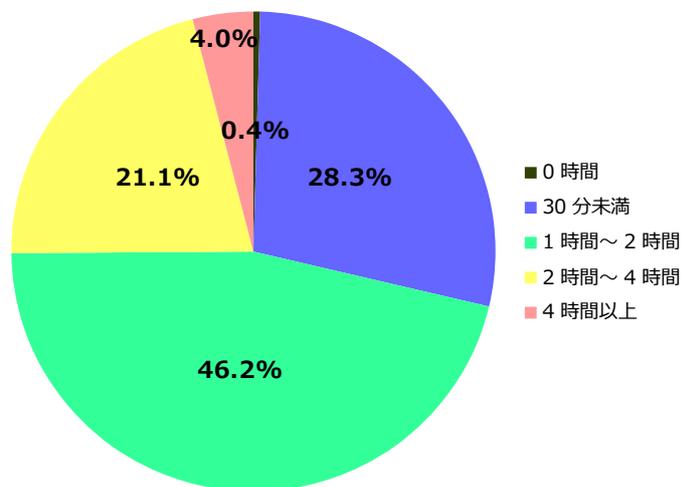
コミュニケーション量については、子どもの学校がある日の会話時間は1～2時間が、46.2%と最多であった。

会話の内容は、1位「学校での話題 (78.0%)」、2位「習い事/運動系 (68.2%)」、3位「友達の話 (42.2%)」と、共に子どもを中心した内容であることがわかる。

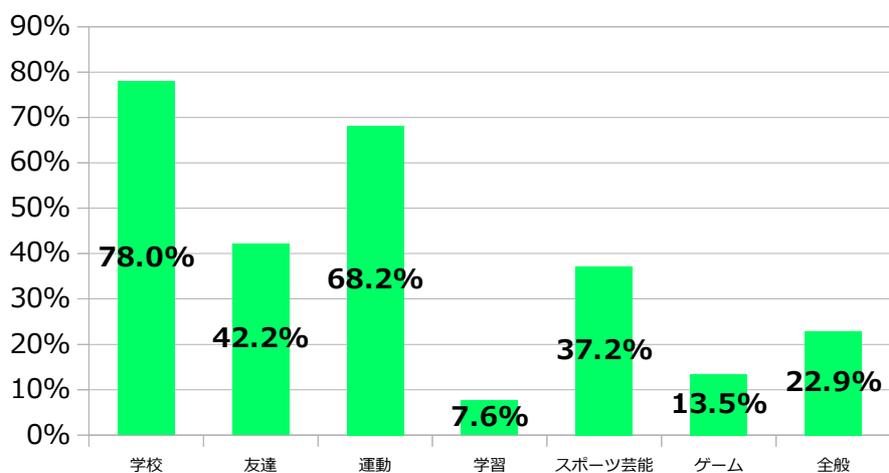
Q1.お子さんとはコミュニケーションがとれていますか？ (SA) N=223



Q2.お子さんが学校のある日、お子様との会話時間はどのくらいですか？ (SA) N=223



Q3.お子さんとの会話で、どのような話題が多いですか？ (MA) N=223



【考察】調査結果①について

株式会社クーバー・コーチング・ジャパン アカデミーヘッドマスター 中川英治
今回の調査で、親子のコミュニケーションは概ねとれていることがわかります。
共働き家族の増加や、孤食の社会問題が叫ばれている一方、保護者の皆様は忙しい中でもお子様と関わる時間や、コミュニケーションを大事にしていることが伺えます。

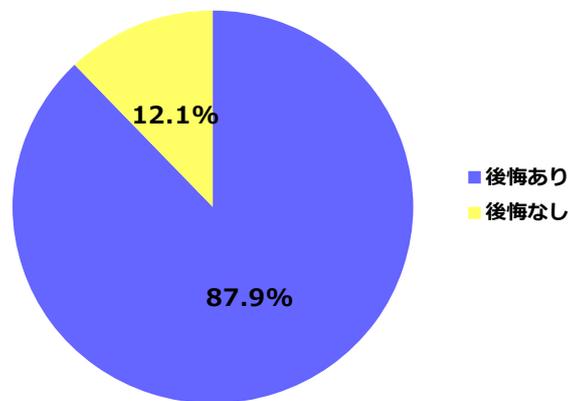
【調査結果②／後悔した発言や態度について】

子どもとのコミュニケーションで「後悔する発言・態度をとったことがある」と回答した保護者が87.9%もいることが判明した。

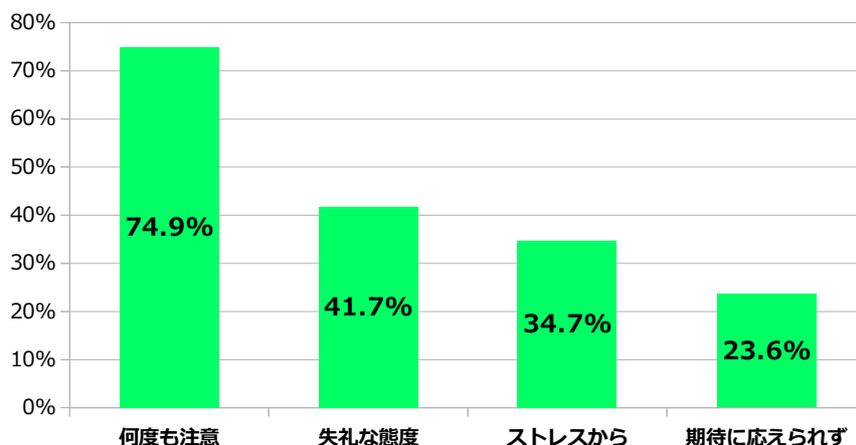
その理由は、「過去にも注意したことを繰り返したから」が74.9%で断トツの1位であり、言うことを聞かないときに叱ったことで後悔を招いていることが明らかになった。

少数意見では、「慌ただしさから、きちんと向き合わずに流してしまった。」や「叱るというより、怒鳴る、怒る態度で接してしまった」といった回答もあり、保護者自身が原因となることもあることもわかる。

Q5.親子のコミュニケーションで後悔をするような発言や態度を取ったことはありますか？（SA）
N=223



Q6.Q5で「ある」と答えた方への質問です。
なぜそのような言動をしてしまったのですか？（MA） N=196



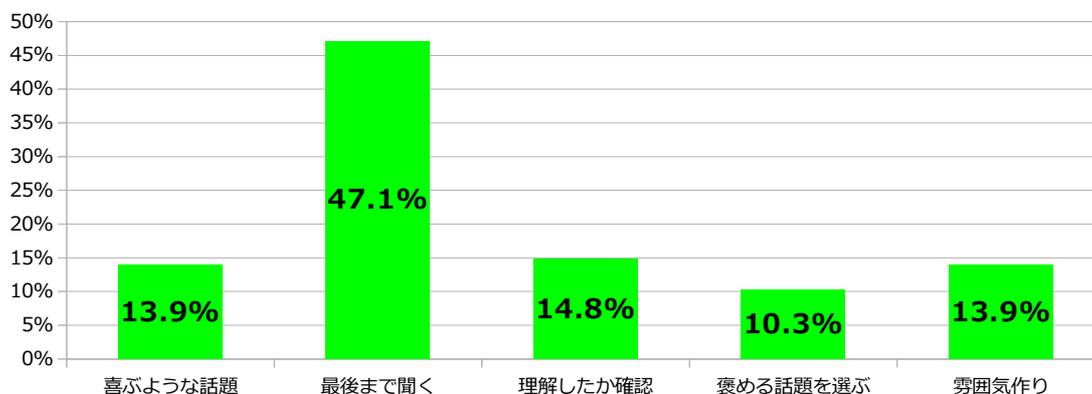
【調査結果②／後悔した発言や態度について】

【考察】調査結果②について
株式会社クーバー・コーチング・ジャパン アカデミーヘッドマスター 中川英治
後悔の原因として一番多かったのは「過去に注意したことを繰り返したから」でした。一度注意してもお子様は保護者の意に沿うとは限らない状況が何え、子育ての難しさや、ご苦労を感じます。例えばサッカーの試合中、お子様が同じミスを繰り返したら「なぜ（WHY）出来なかったの？」と聞いてしまいがちです。過去の現象に対して発言するのではなく「今度はどんな（HOW）プレーをしたらできるかな？」「次は何（WHAT）をすればよいか？」と未来のことを親子で一緒に考えるようにするのはいかがでしょうか？ 発言をWHYではなく、HOWやWHATに置き換えると、より問題解決型になり、より未来志向のコミュニケーションが生まれます。

【調査結果③／コミュニケーションで気をつけていることについて】

子どもとのコミュニケーションで気をつけていることは、**「子どもの言いたい事を最後まで聞く」が47.1%で最多！** 次いで「子どもが喜ぶような話題を見つける（13.9%）」など、子ども目線でコミュニケーションを取ることがポイントとなっている。

Q7.お子様との会話で最も気をつけていることは何ですか？（SA） N=223



【調査結果③／コミュニケーションで気をつけていることについて】

回答数が最多の「子どもの言いたい事を最後まで聞く」を男女別に見ると女性の57.1%、男性の38.1%が選択。

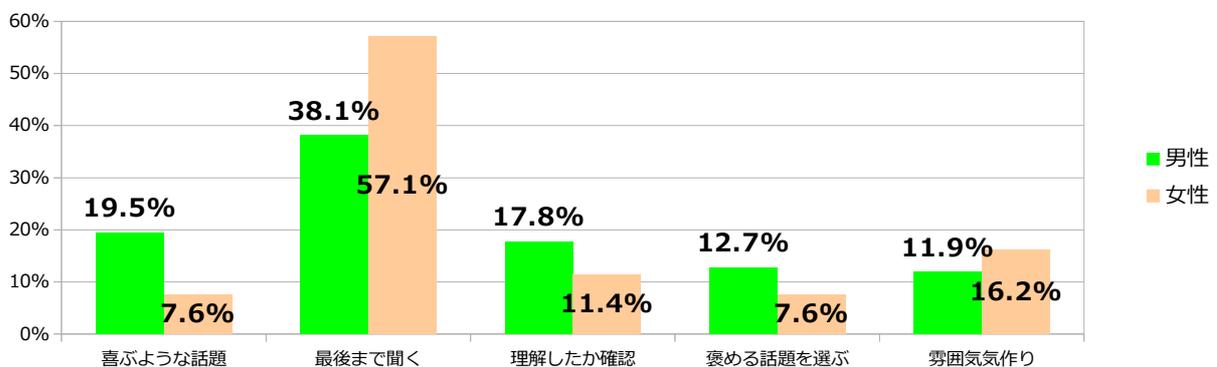
女性の方が話を聞くことをより意識していることがあきらかになった。

一方、男性は女性と比べて「子どもが喜ぶような話題を見つける」

「褒める内容を探し、話題を選ぶ」を選択。

女性は「聞き」、男性は「話す」傾向がでた。

Q7参考. (男女別) お子様との会話で最も気をつけていることは何ですか？ (SA) N=223



【考察】調査結果③について

株式会社クーバー・コーチング・ジャパン アカデミーヘッドマスター 中川 英治
コミュニケーションとは、話すこと半分、聞くこと半分です。女性のコミュニケーションの傾向を見習い、男性もお子様の話を、よく聞くことを、意識してみてはいかがでしょうか？ 聞き上手はモテるとも言われています。ここでは聞くスキルを4つご紹介します。

- ①うなずく（聞いているサイン）
- ②オウム返し（よろこぶポイントを繰り返す）
- ③言いかえ（言葉をかえて言う）
- ④質問をする（話の背景までをも理解する）

【調査総括】

株式会社クーバー・コーチング・ジャパン アカデミーヘッドマスター 中川 英治
お子様と過ごす時間が多くなり、コミュニケーションをとる機会が増える夏休み、お子様とのコミュニケーションの際、WHYから、HOWやWHATに置き換える
問題解決型コミュニケーションや「次は？」「今度は？」と問う未来志向の
コミュニケーションを実践したり、積極的に話を聞くことを意識したりしてみてください。
お子様とのコミュニケーションの密度が更に濃くなると思います。

【参考情報】

■クーバー・コーチングとは

世界各国のサッカー連盟や協会、クラブチームなどから高く評価されているサッカー・テクニク指導法（メソッド）。現在、世界30数カ国・地域で、この指導法をもとにスクールやキャンプなどさまざまな活動が展開されています。オランダの偉大なコーチ、ウィール・クーバー（元フェイエノールト監督）が1970年代に開発。スター・プレーヤーたちの動きをビデオで分析し、かれらの技術を「分解」、段階に分けて教えることで、より攻撃的な選手育成につながることを初めて見出しました。1984年、アルフレッド・ガルスティアン（元ウィンブルドンFC選手）とチャーリー・クック（元スコットランド代表）が、この考えをカリキュラムにまとめ、スクールのネットワークや教材を通して、世界で最も信頼される指導法となりました。

◆本部： ロンドン・東京、

◆ホームページ（英語）：<http://www.coerver.co.jp/english-top/>

■(株)クーバー・コーチング・ジャパンとは

クーバー・コーチングのメソッドをもとに、日本国内138カ所（2016年6月現在）でサッカースクールを展開し、十分にトレーニングを積んだプロのコーチ陣が、幼稚園から中学生まで約20,000人の子どもたちを指導しています。クーバーのスクールでは、学校や地域のクラブやチームなどとは異なり、「チーム」ではなく、「個人」のサッカー技術や運動能力、コミュニケーション能力などを高めることが目的です。各地から個人単位で参加する夏季・春季の「サッカーキャンプ」（合宿）も運営しています。また、プロのサッカー・コーチを養成する「クーバー・アカデミー・オブ・コーチング」も運営。優秀なプレーヤーと指導者を輩出することで、日本サッカー界の発展の一翼を担っています。

◆代表取締役社長： 石橋慎二（元・全日空横浜サッカークラブ主将）

◆本社所在地： 東京都港区南青山6丁目1番3号 コレツツィオーネ302

電話： 03-3407-2605 FAX： 03-3407-6317

◆ホームページ：<http://www.coerver.co.jp/>



▼お問い合わせは下記まで、お気軽にどうぞ▼

株式会社クーバー・コーチング・ジャパン

T E L / 03-3407-2605（平日10時～18時） FAX / 03-3407-6317

Email info@coerve.co.jp